

# 感染防止安全計画

## 1. 開催概要

イベント名	山あげ祭	
出演者・チーム等	烏山山あげ保存会 芸能部会（別添一覧のとおり） （多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。）	
開催日時	令和4年7月22日～24日（時分～時分） ※複数回開催の場合 → 別途、開催する日時の一覧をご提出ください。	
開催会場	那須烏山市烏山市街地（会場のURL等があれば記載）	
会場所在地	那須烏山市金井2-5-26周辺	
主催者	山あげ祭実行委員会	
所在地	那須烏山市中央1-1-1	
連絡先	電話 0287-83-1115 email : shohkohkankoh@city.nasukarasuyama.lg.jp	
収容率（上限）	<input type="checkbox"/> 収容定員あり 100%	<input checked="" type="checkbox"/> 収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔
	いずれかを選択（いずれも大声がないことを担保）	
収容定員	人	—
参加人数	20,000人/日（3日間 60,000人）	
ワクチン・検査パッケージ制度等の活用	ワクチン・検査パッケージ制度等を活用する場合、いずれかを選択 <input type="checkbox"/> 緊急事態措置区域：人数上限10,000人を収容定員まで緩和 <input type="checkbox"/> まん延防止等重点措置区域：人数上限20,000人を収容定員まで緩和 ※感染拡大の状況によっては、ワクチン・検査パッケージ制度等の適用による緩和が実施されない場合があります。	
その他特記事項		

（※）大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

## 2. 具体的な対策

### ①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底

#### <チェック項目>

- ☑飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

（※）大声の定義は「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。

#### <具体的な対策>

##### <記載項目（例）>

- マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施
  - マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客の退場措置の事前準備・周知（チケット購入時の約款に明記等）。
  - 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整。
  - 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底のための実施計画。
- 新たな鑑賞・応援方式を根付かせるための取組の工夫（演者からの呼びかけ等）

#### （記載欄）

- （1）専用サイトや SNS、パンフレット等で、事前に来場時の適時適切なマスク着用など感染症対策について周知を行う。
- （2）マスクの未着用や大声を出す来訪者がいた場合は、山あげ祭関係者（若衆や市職員等）が個別に注意を行う。
- （3）ぶんぬき時の大声は自粛とし、お囃子の競演のみとする。

## ②手洗、手指・施設消毒の徹底

### <チェック項目>

- ☑こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）
- ☑主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施

### <具体的な対策>

#### <記載項目（例）>

- 具体的な手洗場、手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施
- 施設内の消毒（箇所・頻度等）の計画の検討・実施
- アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ

#### （記載欄）

- （1）会場付近の案内所（3カ所）や仮設トイレ（7カ所）、シャトルバス発着所（2カ所）にアルコール等の手指消毒液を設置。仮設トイレ設置箇所には仮設手洗い場を設置
- （2）仮設トイレや飲食スペースの定期清掃（消毒を含む）
- （3）こまめな手洗い・手指消毒を促す内容の表示物を案内所、仮設トイレ、飲食スペースに掲出し、呼びかけを図る。

### ③換気の徹底

#### <チェック項目>

- ☑法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上）の徹底

#### <具体的な対策>

##### <記載項目（例）>

- 各施設の設備に応じた換気計画の検討・実施
  - 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気計画の策定。
  - CO2 測定装置による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認するための手法の検討・実施。
  - 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス。

#### （記載欄）

- （1）野外でのイベントになるため、換気については特に対応なし。

## ④来場者間の密集回避

### <チェック項目>

- 入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施
- 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築
- 人と人とが触れ合わない間隔の確保

### <具体的な対策>

#### <記載項目（例）>

- ▶ 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携（駅付近の混雑度データを踏まえた増便等）による誘導計画
- ▶ 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- ▶ CO2 測定装置等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- ▶ 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫

### （記載欄）

#### （1）入退場について

市街地の野外で行われ、また、入退場の時間や場所は指定していないため、分散した入退場が可能。

#### （2）飲食スペースについて

テーブルでは向かい合わせで飲食しないよう予め表示を貼り、はす向かいの利用を呼びかけする。また、長居による密を避けるため、椅子は設置しない。

#### （3）公演会場について

栈敷席（観覧席）の配置については、安全面を考慮し前後左右を1席空け、前後左右の座席と身体的距離の確保を図る。立ち見の観客については、密にならないよう山あげ祭関係者（若衆、市職員等）により呼びかけを行う。

また、密になりやすい特別公演については、雑踏警備員（3名）を配置し、会場内のスムーズな誘導を図る。

- (4) その他密集を回避する対応について  
公演のライブ配信の実施により、公演会場内の密の解消を図る。

## ⑤ 飲食の制限

### <チェック項目>

- ☑ 飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底
- ☑ 飲食中以外のマスク着用の推奨
- ☑ 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛（ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない）
- ☑ 自治体の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）

### <具体的な対策>

#### <記載項目（例）>

- 飲食可能エリアにおける飛沫感染等を低減する具体的な感染防止策の策定
- 飲食・アルコールを必要最小限に抑える方策の検討・実施
- 安全なイベント開催のための、飲酒による大声発生等の問題発生時には退場処分や酒類の提供中止等の対策を事前に周知

### （記載欄）

#### （１）出店者について

祭典中のマスクの着用、祭典２週間前からの健康チェック（検温、体調管理）や行動記録簿への記入を実施。

#### （２）飲食専用エリアについて

飲食用エリアを予め指定。飲食する場合は食事中以外のマスク着用を促す表示物をテーブル等に表示。また、指定されたエリア以外での飲食の自粛について、エリア付近に周知看板（５枚）を設置。

#### （３）アルコールの販売について

感染状況等によりアルコール類の販売の自粛等を出店者に要請。

## ⑥出演者等の感染対策

### <チェック項目>

- ☑有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する
- ☑練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する
- ☑出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）

### <具体的な対策>

#### <記載項目（例）>

- 日常から行う出演者やスタッフ等の健康管理方法の検討
  - 出演者やスタッフ等の必要に応じた検査の実施。
  - 健康アプリの活用等。
- 出演者やスタッフ等と観客の接触防止策（動線計画・ファンサービスの自粛等）の策定、出演者やスタッフ等及び観客双方への呼びかけ

#### （記載欄）

##### （1）出演者、若衆等について

有症状者は参加、準備、練習を控える。また、祭典2週間前から健康チェック（検温、体調管理）や行動管理簿への記入を実施。接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードの実施。また、可能な限りワクチン3回の接種を推奨。

##### （2）公演前後について

出演者は開演時刻の30分前に他所控室から会場入りし、公演終了後速やかに他所控室へ移動する。



## ⑦参加者の把握・管理等

### <チェック項目>

- ☑チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握
- ☑入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止
- ☑時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起

### <具体的な対策>

#### <記載項目（例）>

- チケット購入時の参加者の連絡先把握
- COCOA や各地域の通知サービス等による来場者情報の把握・管理手法の確立（アプリ等の確実なダウンロードや来場者情報を把握するための具体的な措置の検討）
- 直行・直帰等のイベント前後の感染対策に関する具体的な措置
  - 会場での直行・直帰の呼びかけ。
  - 警備員による公共交通機関への誘導等。
- 検温・検査実施のための体制・実施計画
- 有症状者の入場を防止できるキャンセルポリシーの整備

#### （記載欄）

##### （１）来場者の把握について

専用サイト、SNS、パンフレット等により、接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードの実施について周知を行う。

##### （２）有症状者の来場自粛について

専用サイト、SNS、パンフレット等により、有症状者の来場自粛について周知を行う。

##### （３）イベント前後の感染防止について

市街地の野外で行われ、また、入退場の時間や場所は指定していないため、分散した入退場が可能。

##### （４）直行・直帰の呼びかけ等について

専用サイト、SNS 等により、直行直帰の呼びかけを実施する他、おもてなし広場や公演会場において適宜アナウンスを実施。